



2024 年度8月号 社会福祉法人 尚徳福祉会 保育園川崎ベアーズ

気持ち良く晴れ渡った空に照り付けるような日差し。本格的な夏到来ですね。子どもたちは暑さに負けず元気いっぱいです。園庭に出ると大好きな虫探しに夢中だった子どもたちでしたが、幼児組のお兄さんお姉さんが朝顔を使って色水遊びをしているのを見ると「なんで色が変わるのかな？」と不思議そうに見ていました。「触ってみる？」と言われると嬉しそうにビニール袋を触り「つめたい」と言っていました。今後も夏らしい遊びを異年齢児と一緒に楽しんでいきたいと思ひます。



水遊び

熱中症警戒アラートが出る事が多く、水遊びができない日が続くと「雨が降っていないのに、なんでお水遊びできないの？」と聞いてくる子どもたちでした。水遊びができた日は、うれしそうに、たらいを囲み「気持ちがいいね」「見てみて」「お水つめたいね」とジョーロやスコップで水をすくい感触を楽しんでいました。水遊びでのお約束事の話を知っている子は「おともだちにかけちゃだめだよ」と話す姿も見られました。ぱんだ組と一緒に水遊びを楽しんでいるので、お兄さんお姉さんの遊んでいる様子を見て真似をする子もいました。8月も熱中症に気をつけながら水遊びを楽しみたいと思ひます。



制作「おさかな」

戸外遊びができない日に制作をしました。魚の形をした画用紙に絵の具をつけたスポンジでスタンプをしました。絵の具が手に着くと「見て」とうれしそうに保育者に見せ、その後は手を洗うため水道へ。泡の色が赤などに変わると、「あかになった」「でも落ちない」「お風呂に入ると、きれいになるんだよ」と言いながら洗っていました。8月も戸外へ出られないときは、制作活動を取り入れ、のりや絵の具に触れ感触遊びを楽しみたいと思ひます。



アンパンマンパズル

パズルブームが続いている、こぐま組です。登園してすぐに「パズルする」と保育者に伝えて「ちがう、これじゃない」「これがいい」と自分の好きなパズルを選んでいきます。パズルを通じて「つぎかして」「できたの？すごいね」と子ども同士の会話も盛り上がっています。ホールで遊ぼうと誘っても「パズルがいい」と言う子もいるので室内遊びをする子、ホールで走る子と好きな場所で遊べるように工夫しています。